

国際交流サロン

6月の「世界の国技を見てみよう」は「ウズベキスタン共和国の国技・クラッシュ」です。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

国	ウズベキスタン共和国	国技	クラッシュ
どんな競技か	上半身に東洋風の上着と帯を着用して行う格闘技。投げ技が中心で寝技や固め技はなく、相手を投げた者の足は地上に残らなければなりません。勝負は一本勝負で、一本、技あり、効果で判定されます。主な反則行為は、相手の足を攻めたり、頭を相手の胸に付けて防御したりすることです。また、帯を握って組む、独特の組手が多くみられます。起源は紀元前4世紀頃からトルキスタンで行われていた古来の民族的格闘技で、試合は町の広場や草原にじゅうたんを敷きつめて行われます。		
同じ国技の他国	トルクメニスタン、カザフスタン、キルギスタン、タジキスタン等		



◀陶炎祭のホームタウンガイド

7月の国際交流情報

国際ボランティア研修

7月6日(日)

- ・東京日本橋の再開発と街の英語表記勉強会
- ・笠間稲荷神社東京別社にて民話奉納会

☆7月の日本語教室の開講日

7月5日(土)・12日(土)・19日(土)
(友部公民館 午前10時～)

国際ボランティア研修の参加者募集

笠間市国際交流協会では、今年度から新事業として「笠間の民話」を活用した外国人交流を推進しています。初年度は、東京の日本橋を散策しながら、街の英語表記の勉強をする研修会を行います。午後からは日本橋浜町の笠間稲荷神社東京別社に昇殿して、笠間の民話の奉納会を日本橋在住の方々と一緒に開催します。参加を希望する方は、電話でお申し込みください。

参加費 一人 3,800円

申込期限 6月30日(月)まで(申込み多数の場合は、抽選となります。)

問合せ：一般社団法人 笠間市国際交流協会 TEL090-2761-8711 (木村 美枝子)

総会

市長コラム



▲ 男女共同参画推進連絡協議会総会にて

4月、5月は、各種団体の総会が相次いで開催され、前年度の決算や新年度の予算・事業などが承認されます。他の公務と重なり、挨拶のみで退席してしまうことが多いのですが、来賓として出席したいのですが、来賓については、資料等で活動、予算、会費、補助金等の内容を見させていたいています。

総会の様子を見てみると、意見が活発に交わされる団体もあれば、形式的に終わってしまう団体もあり、更に会員数と比較

すると出席者が少ないと感じることもあります。さまざまな事情があるかとは思いますが、年に一度の総会です。多くの会員の出席の元、活発な意見交換をすることが理想です。

また、課題としては、会員数の減少、予算の確保、事業の縮小、新事業への取り組み等があります。団体、協会等は、それぞれ目的があって設立されたわけであり、目的達成と時代変化に対応する組織としての活動が、会員の増加につながるのではないのでしょうか。行政としても各団体の自主性を尊重しながら、支援、対応してまいります。

私が代表を務める役所関係の団体もあります。首長としての職務優先のため、最小限の役割を受けています。現在、私が長を務める団体は一つです。首長としては、少ない方だと思えますが、一つ一つ責任をもってまいります。

笠間市長
山口伸樹